

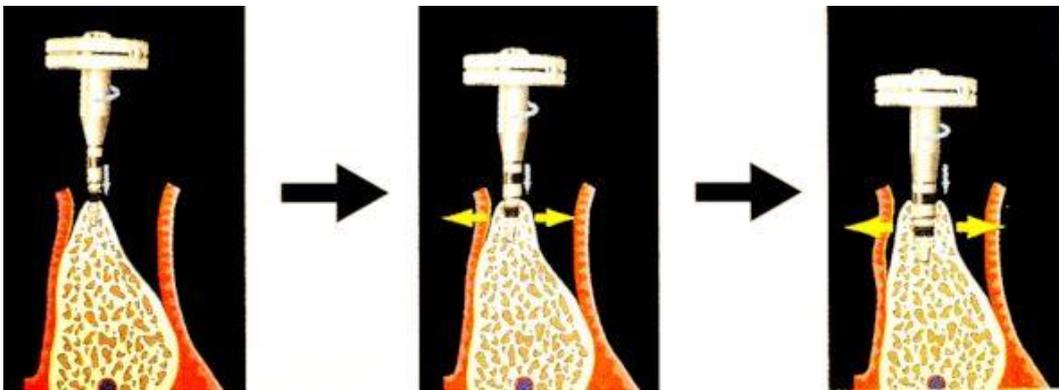
造骨法を用いた低侵襲のインプラント治療

すべては患者さまの安心のために！東京審美会の技術
東京審美会なら、顎骨が細い場合でも超低速回転で、簡単に骨を拡大！
インプラント治療を低侵襲で行っています。

例えば、細い骨に、骨の幅より太いインプラントを埋入しなければならない場合、
従来の方法では、**骨の外側に新たな骨を造る造骨法**を行っています。
しかし、このような造骨法では、骨が定着し硬くなるまで3～6か月待たなければならず、
また、骨を外力から守るためにはチタン製のメッシュで覆わなければならないのですが、
この**チタン製メッシュが感染を起こしやすい**という欠点がありました。

東京審美会では、**超低速回転で、簡単に骨を拡げ、拡げた骨の内部に新しい骨を造る**骨形成
法を行っています。

この方法では、造骨する周囲に硬い骨が存在しているため、外力が加わっても確実に造骨
することができるのです。



〈骨の拡大〉

東京審美会なら、簡単に骨を太くすることができます

粘膜下の造骨法を用いた低侵襲のインプラント治療

すべては患者さまの安心のために！東京審美会の技術
新しい粘膜下で骨をつくる方法を開発、東京審美会の新しいアプローチ

造骨では、骨が増える分だけ、粘膜にテンション（緊張）が加わり、**裂開が起きてしまう**ことが多くあります。

粘膜が裂開してしまうと**感染**が起こり、造骨が失敗に終わってしまいます。

東京審美会では、骨と粘膜を剥離し、

東京審美会が開発した粘膜を破らないドリルで骨の表面についている軟組織をきれいに除去し、きれいになった骨と粘膜の間にできたスペースに、再生医療の技術で作成した骨の基になるペーストを注入することによって造骨するまったく新しい造骨のアプローチ（K-1 グラフト）による、造骨を行っています。

東京審美会が臨床応用を進める新しい造骨手術（K-1 グラフト）

（術者 中田圭祐）



〈東京審美会が開発したK-1 グラフト法（第3種再生医療）〉

ドイツ製の骨ペーストと濃縮した患者さまご本人の血液を混合し注入する骨造成

K-1 グラフト法は、一般的な骨造成（GBR 法）と比べて、腫脹や腫れが少なく、患者さまにやさしい造骨法です。また、**縫い目が避けることもないので、感染を防ぐ非常に有効な方法**です。

患者さまの負担を減らす粘膜を破らない新技術の開発

すべては患者さまの安心のために！東京審美会の技術　！

上顎洞までの距離がなくても簡単に上顎洞粘膜を持ち上げるドリルを開発して使用しています。

上顎の臼歯部にインプラントを入れる場合に、

上顎洞というお鼻の空洞までの骨の厚みがない場合、上顎洞粘膜を持ち上げてインプラントを入れるための厚い骨をつくる造骨が必要となります。

一般には、マレットと呼ばれるハンマーのような器具、で、上顎洞底部の骨を下から叩いて割り上顎洞底部の骨を持ち上げる方法（パーティカルアプローチ法）や、歯肉粘膜を頬の方まで大きく剥がして、頬側から上顎洞の頬壁の骨を大きくくり貫いて、内部の上顎洞粘膜を剥がして骨のできるスペースを作る（ラテラルアプローチ法）など、患者さまにとっても術者にとっても気が重い方法が広く行われています。

特許取得後に写真を掲載いたします。②

〈東京審美会が開発した粘膜を破らない骨ドリル〉

パーティカルアプローチ法は、切開範囲が小さくて済むメリットはありますが、骨を小さくしか造骨できないこと、ハンマーでたたくことによる脳への衝撃や、力加減を誤ることによる上顎洞粘膜の破断などが問題となっていました。

一方、ラテラルアプローチ法では、骨を大きく造骨することができますが、切開する範囲も頬までと大きく、大きな痛みや、頬部に非常に大きな腫れが起こってしまっています。

このように上顎洞挙上術に関しては、患者さまに大きな負担と不安をあおる方法が広く行われています。

東京審美会は、まったく異なるアプローチで上顎洞挙上を行っています。

東京審美会では、粘膜を破らないで骨を自由自在に削除することができるドリルを開発しました。

東京審美会が開発したドリルは、深く掘り進めるだけでなく、上下左右方向へも自由に骨を掘り進めることができるのが大きな特徴です。

特許取得後に写真を掲載いたします。③

〈東京審美会で開発したドリル〉

粘膜を破りません

東京審美会の開発したドリルは、粘膜や軟組織を破ることなく自由自在に骨を削除できるので、

従来ならラテラルアプローチ法で行わなければならなかったような骨の厚みが少ない患者さまでも、簡単な手術法で骨ができるようになりました。

新しい技術は、患者さまの恩恵をもたらすものでなければなりません。

上顎洞の厚みが少なく、頬部から大きく上顎洞を持ち上げなければならないと言われた患者さまも、どうぞ東京審美会へご相談ください。

東京審美会なら、腫れない安全な方法での治療をご提案できます。

東京審美会で生まれた『粘膜を破らないドリル』は、今！

☞ 東京審美会で開発した、薄い粘膜は破らずに骨を自在に掘削できるドリルの技術は、東京審美会で設計、開発案を出し、メーカーの技術者を前に試作品による生卵の殻割から殻めくりなど、実際の臨床、手術に至るまで、すべての過程が、東京墨田区の東京審美会で開発を進めてまいりました。

☞ このドリルは、素材にメーカーが所有する世界初の革新的技術をつぎ込み完成度を高め、東京審美会総院長とメーカーとの共同で特許を取得することとなりました。

特許取得後に写真を掲載いたします。④

さらにこのドリルの技術は飛躍を遂げ、脳神経外科の開頭手術で、頭蓋骨に孔を開けて開く際に、内部の外膜、クモ膜、軟膜を傷つけないで頭蓋骨を削ることができるドリルへと開発が進み、現在、大学病院にて治験が行われています。東京審美会の英知、日本が誇るメーカーの卓越した精密な技術力が結集して、脳神経外科手術の安全に大きな寄与を目指して、改良を進めています。東京審美会では、今後も難しい治療を安全に、簡単に行うためのさまざまな技術の考案、開発を進めて参ります。東京審美会にご期待ください。

無出血でのインプラント治療が可能

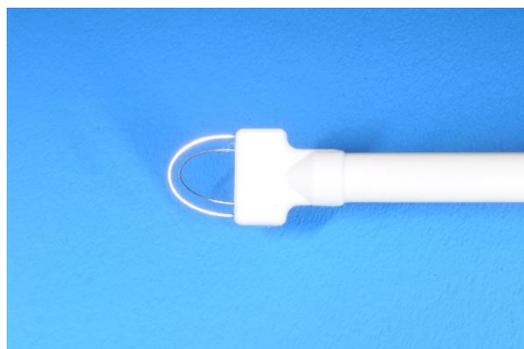
東京審美会なら…

インプラント治療に伴う出血が心配、止血に不安があるという患者さまでもご心配が入りません。

東京審美会では、無出血で骨膜を剥離し、骨を確認、インプラントの埋入を行うこともできるからです。

東京審美会では、無出血で安全にインプラント手術を行う

東京審美会ならではの新しい手術法の術式を考案し、臨床応用しています。



〈東京審美会が誇る無出血手術をお約束する特殊なメス〉

東京審美会なら、出血傾向の強い患者さまであっても、

安全に、安心なインプラントの埋入手術を行うことができる可能性があります。

実際に、東大病院でも慶応大学病院でも、出血が止まらないと言われた患者さまも、

東京審美会では、ほとんど出血もないまま、あっという間にインプラントの埋入が終わってしまっております。

東京審美会のインプラント・サクセスストーリー

東京審美会が開発した《粘膜を破らない骨ドリル》による上顎洞挙上と
再生医療を併用した無出血インプラント埋入手術 （術者 中田圭祐）

ちょっとした出血でも、球のように血液が流れ出るほど、血が止まりにくい患者さまが、インプラントによる歯の回復をご希望され、来院。東京審美会では、血液検査をはじめ、全身状態を詳細に精査。東京審美会が所有する止血しながら粘膜を剥がす特殊なアメリカ製手術メスを用いて骨形態を確認し、さらに東京審美会が開発した粘膜を破らないドリルにより丁寧に傷つけないように上顎洞粘膜を持ち上げてインプラントを埋入。インプラントを埋入後、採血した血液からフィブリン膜をインプラントのフランジ・キャップではさんで固定しました。



出血傾向のある患者さまにも関わらず無出血手術にて、手際よく短時間で手術は終了。
また、硬い皮質骨である上顎洞底骨にもインプラントを把持させるバイコーティカル・アンカレッジ法にて、上顎骨の厚みが少ないにも関わらずインプラントはしっかりと固定されました。



「すぐに終わって、まったく痛みもありませんでした」（患者さまのお言葉）

実際に、採血にかかるお時間、麻酔のお時間を除けば、治療はわずか30分程度で終了してしまいました。

血が止まらない患者さま、出血傾向のある患者さまに、安全にインプラント手術を行うために入念に治療を計画し、万全の準備をしていたとはいえ、万が一、出血が止まらない事態に備え、止血用のハイパワー・メス、血管を強力に収縮させるアドレナリン溶液、滅菌した大量のガーゼ、コットンなど、万全の準備を整えていたのにも関わらず、無出血であつという間に終了してしまったので、患者さんの笑顔とともに、スタッフともホッとした思い出の症例です。

まっすぐにインプラントを埋入して破折を防ぐ

インプラントの美しさ、目指しているクオリティが違います。

他の追従を許さない、完成度の高い東京審美会のインプラント治療

インプラントを植立するための骨が十分でない場合には、通常の治療方法では、インプラントを入れることが難しい場合もあります。たとえば、隣の歯根が曲がって邪魔になっている場合…



〈隣の歯根が曲がっています…〉

このままでは、インプラントを真っ直ぐにいれることはできません。
では、斜めに曲げてインプラントを入れればいいのでしょうか？

東京審美会での答えはNO！です。

インプラントは、横の揺さぶりに弱く、
斜めに曲がったインプラントでは常に余計なストレスが加わり
金属疲労による破折も近づいてしまいます。

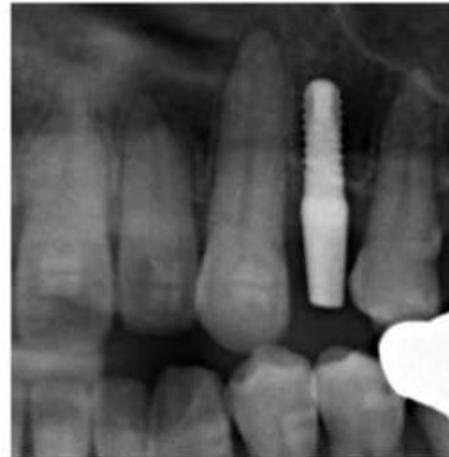
東京審美会は、隣の歯根により斜めにしか入れられない場合でも
咬合面に対して、まっすぐにインプラントを埋入できます。
それが、患者さまのための技術であり、東京審美会の実力です！

インプラントを真っ直ぐに入れるのが難しいと言われた方も、どうぞ東京審美会にご相談
ください！

東京審美会のインプラント・サクセスストーリー

隣在歯の歯根の方向を修正、咬合面に真っ直ぐなインプラントを埋入した症例

(術者 中田圭祐)



このままでは・・・
インプラントは真っ直ぐに入れられません。

このような場合でも東京審美会なら
インプラントは真っ直ぐに入れられます

はたして隣の歯根の方向を修正してまで、理想の方向にインプラント埋入できる実力のあ
る医院、または、そのような提案をしてくれるインプラント治療院が日本には何件あるでし
ょうか？

隣の歯根が曲がって邪魔になっている場合でも、
東京審美会では歯根の方向を理想的に、自由自在に変えることができるので、
インプラントも噛む面に真っ直ぐに入れることができます。

東京審美会は、インプラントを長い目で見ているから、理想的なインプラントのあり方にこ
だわり続けます。

「理想のインプラント埋入」…東京審美会なら実現できます。

東京審美会のインプラント・サクセスストーリー

他院で、噛み合わせの治療を行っていた患者さまで、**治療を受けているうちに歯がだんだんとなくなっていくことに不安を感じて、当院をご紹介された患者さま**です。深くなっている噛み合わせを浅くするために、舌側矯正装置による矯正治療を始められたそうですが、**痛くて我慢できずに装置をはずしてもらった**とのことでした。

舌側矯正は、総院長が青山審美会歯科矯正で専門分野の1つとして治療にあたっていただけでなく、青山審美会が主催する、開業医、矯正歯科医向けの舌側矯正講習会に於いてスタッフとして参加していた総院長にとって非常に明るい分野です。

しかし、東京審美会なら、そんな複雑な方法でなくても、簡単に咬合を挙上することができます。

東京審美会は、**治療は患者さまのために、最も負担が少なく、シンプルで、患者さまにやさしい方法を採用**します。



〈噛む力により、奥歯の方から歯が崩壊していきます〉

半年後にアメリカに在住されているお嬢様と中南米をめぐるご旅行を予定しており、それまでに歯を回復させたいとのご希望です。

インプラントによる治療をご希望されていますが、インプラントを入れる高さのスペースも不足しているため、このままではインプラントによる歯の回復は望めません。



〈インプラント埋入するために、咬合挙上を行いました〉

矯正治療で行うバイトプレーンによる咬合挙上を行い、インプラントを埋入するためにスペースを確保しました。患者さまが、調度いいと感じられる高さまで、徐々に時間をかけて咬合を挙上します。顎関節の顎位を変えることは、顎関節に対する解剖学的精査と生理的順応、また患者さまの協力度を見極めながら順を追って慎重に治療を進めなければなりません。



〈咬合を挙上したまま、インプラントを埋入しました〉

インプラントを埋入後、挙上された高さでクラウンをセットし、挙上された高さまで、他の歯の高さを矯正していきます。

咬合平面の再構築による矯正方法は、東京審美会のお家芸で何人もの患者さまの咬合を矯正しています。



インプラントの回復とともに、咬合の高さを少し戻します。東京審美会なら、噛み合わせの高さを顎関節に調和できる範囲で自由に修正することができます。さまざまな矯正装置、矯正治療法を研究している東京審美会ならではの方法です。



高さのスペースが不足してインプラントを入れることが難しかった奥歯にもインプラントによる歯の回復をすることができました。このような手法により、東京審美会なら、咬耗によって噛み合わせが深くなり、顎関節に負担がかかるようになってしまっている患者さまにも、本来の噛み合わせの高さに戻してあげることができます。

アメリカにご出発される前にインプラントできれいに何でも食べられるようにしたいとのご希望で、時間的に非常に厳しい制約があるにもかかわらず、遠くから熱心に通院していただいたおかげで、間に合わせることができました。きれいな歯になってアメリカに向かうことができた！とお喜びいただきました。

「同じ歯医者さんでも、ぜんぜん違うのですね！」(患者さまのお言葉)

また、知り合いの方がインプラント治療を受けられた時に、非常に痛かったとのお話で

「痛いのを覚悟していましたが、全く痛みがないので驚きました！」(患者さまのお言葉)

とのお言葉をいただきました。患者さまにいただいた最高のお褒めの言葉に

「一番は、患者さんが頑張ってくれたからですよ！」

とお応えしました。

ドクターやスタッフが頑張っただけでは、いい結果は出せません。

患者さまには、アメリカのご出発前に美しい歯を間に合わせるために、ある日には、夜遅くまでクリニックに残っていただき、**歯の修正や、歯の形態のイメージ、プロビジョナル(仮歯)の形態の確認のチェック**などをしていただきました。

また、**技工士さんも、急な呼び出しにもかかわらず、患者さまのために開業されているラボを閉めて、何度もはるばる足を運んでくれています。そのような力の結晶が、素晴らしい結果を生み出したのです。**

東京審美会は、患者さまファーストの、ファースト・クラス・デンタル・ステージ！

東京審美会は、みなさまの大きな力を結集し、他院の追従を許さない秘めた実力を発揮しています！

東京審美会のインプラント・サクセスストーリー

患者さまは、**他院でインプラントの埋入方向の誤りにより歯が入れられなくなっていました。**

患者さまは、前歯が前突になることを嫌っており、それを意識したインプラント埋入を行った結果、インプラント体が下顎前歯とぶつかる方向に埋入されてしまいました。

しかも、インプラント体と下顎前歯との距離がほとんどない状態で、理想的な歯をつくることができない状態でした。



空隙がなく、インプラントの土台も極限まで削って対応した様子がわかります。

しかし、インプラントの埋入方向に問題があるため、このままではインプラントに歯を入れることができません。

下の歯まで削らせてほしい！と言われたため、怖くなって他院の先生に相談したところ、当院を紹介され相談にご来院いただきました。



インプラントの上部構造（アバットメント）が削られて、上部構造を留めている内部のスクリューの部分が見えています。このインプラントの埋入方向では、下の歯にぶつかってしまいますが、上部構造（アバットメント）をインプラント本体（フィクスチャー）に固定する内部のスクリューまでは削るわけにはいきませんので、このままではどうにもならない状況でした！

まずは、レントゲン像からアメリカのインプラント・メーカー製のインプラントであることを突き止め、アメリカのメーカーとコンタクトを取り、当該インプラントのスクリューをゆるめるパーツを用意してもらいました。



患者さまは、当院での治療の継続をご希望されましたので、患者さまのご意向に沿うかたちで、患者さま、総院長、技工士、インプラント・コーディネーターで、治療の方針について話し合いの機会を持ちました。

インプラント・コーディネーターの考え、技工士の技術的な意見、患者さまのご希望と総院長の解剖生理学的な考えを基に、どのような治療が一番いいかを話し合いました。

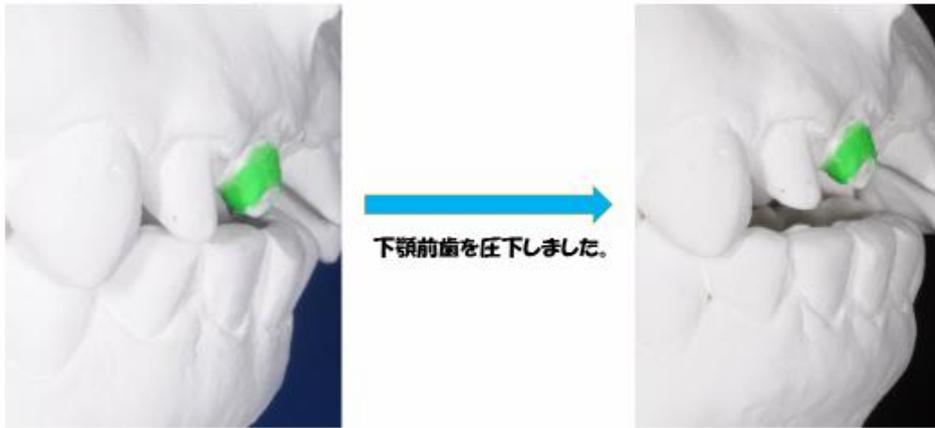


結局、総院長が、最も侵襲が少ない方法で治療を行う方針をたて、まずは下顎前歯を下方に圧下移動させ、下顎の彎曲（スビー彎曲）を緩やかな噛み合わせにすることにしました。

下顎を下方に移動することによってできた前歯部の空隙に、患者さまがご希望される理想的な歯を製作することとしました。



歯を圧下させる特殊なワイヤーと牽引用のインプラントにより前歯を圧下しています。
同時に、歯ならびもきれいにしました



〈治療前〉

〈治療後〉

下顎の彎曲(スピー彎曲)の曲線をゆるやかになるように、下顎前歯を下方に圧下しました。



これくらいの空隙ができれば、歯は入れられそうです。前医によって削られた上部構造（アバットメント）は、外してしまい、新しいきちんとし上部構造（アバットメント）を装着することにしました。



長い上部構造（アバットメント）も楽に入れることが出来ました。



ここまでくれば、技工士さんの腕の見せ所です！

歯の形態に大変にこだわりをもっている患者さまでしたので、このアメリカ製インプラントを知り尽くした、アメリカで活躍する審美歯科専門の技工士さんに、日本に帰国してもらうことにしました。

患者さまは、気に入るまで何度も何度も、歯の修正を要求されましたが、技工士もそのプライドをかけた技術により、患者さまが納得できる歯になるまで、何度も何度も修正を繰り返しました。

そして…

ついに、患者さまが納得する、感激する歯ならびを完成することができました。



患者さまの希望する歯の形と色調の歯を入れることができました！

〈患者さまのお言葉〉

「どこの歯科へ相談に行っても、ぶつかるところをただ削ろうとするだけで
東京審美会のような治療を提案してくれるところはなかった！」

「なかなかこのような治療ができるところ（医院）は、めったにないでしょう！！」

「このようなすばらしい先生を紹介してくれた長谷川先生には、本当に感謝したい！」

〈長谷川先生：当院をご紹介していただいた総院長の教え子の先生〉

政治の世界でご活躍の議員さんらしい、歯に衣を着せぬはっきりとした明確な意見、
力強いお言葉に東京審美会をはじめ、アメリカから帰国して大変に素晴らしい仕事を
なさってくれた技工士さんも患者さまの大きな喜びを共有することができました。
大変にお喜びになっていただけた症例です。